

**平成26年3月期第1四半期
決算説明資料**

名古屋鉄道株式会社

2013年8月8日

連結損益計算書

《連結子会社数 : 130社（前期末比 ー社） 持分法適用会社数 : 16社（前期末比 ー社）》

（ ）は増減率

（単位：百万円、％）

	当第1四半期	前第1四半期	増減	（対前期）
営業収益	135,686	134,820	865 (0.6)	流通+1,326 レジャー・サービス+370 交通+147 不動産△333 運送△384 その他△1,102
営業費用	129,173	128,830	342	
営業利益	6,513	5,989	523 (8.7)	交通+663 レジャー・サービス+323 流通+210 運送△47 不動産△258 その他△375
経常利益	6,383	5,510	872 (15.8)	営業外収益+71 営業外費用△278
特別利益	617	576	41	固定資産売却益+111
特別損失	505	341	163	投資有価証券評価損+177
四半期純利益	4,364	3,606	757 (21.0)	

営業収益は、流通事業において宝飾品など高額品の売上が好調だったことに加え、輸入車販売台数が増加し増収。

営業利益は、減価償却費等の減少により増益。

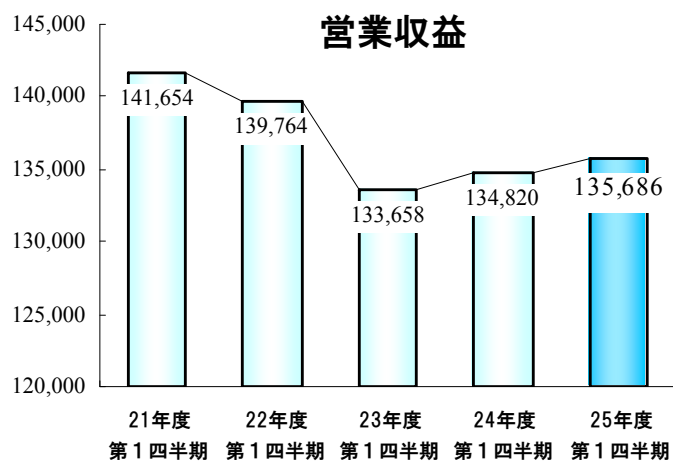
経常利益は、営業増益に加え、支払利息の減少による営業外損益の改善もあり増益。

四半期純利益は、投資有価証券評価損の増加により特別損益が悪化したのが、増益。

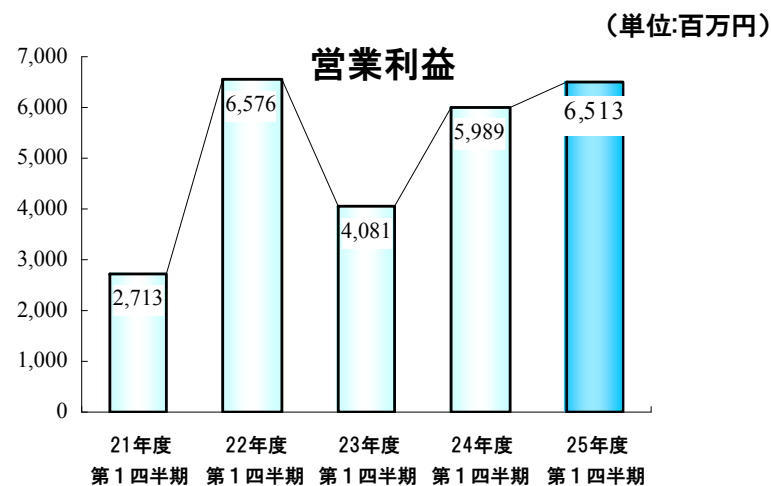


名古屋鉄道

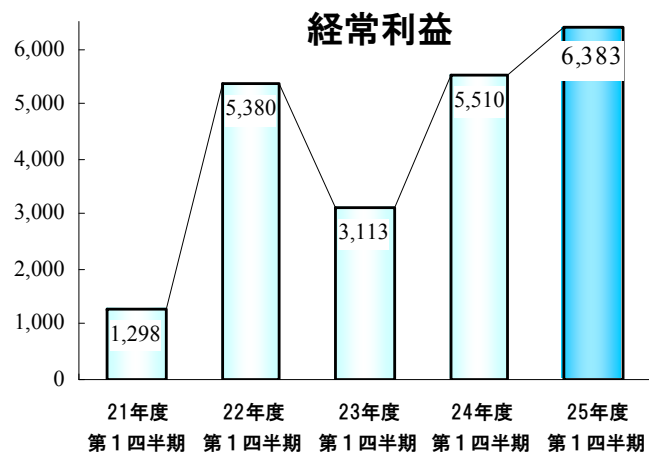
連結業績の推移



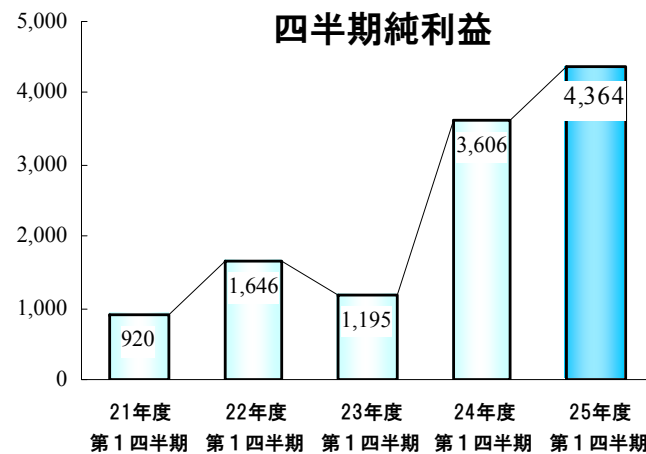
2期連続増収



2期連続増益



2期連続増益



2期連続増益



名古屋鉄道

セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	39,629	39,481	147	0.4	タクシー事業の減収があったものの、鉄軌道輸送人員増加により、全体では増収
運送事業	32,781	33,165	△ 384	△ 1.2	トラック事業で取扱量が増加したものの、輸送単価の下落もあり減収
不動産事業	12,712	13,046	△ 333	△ 2.6	分譲マンションの販売引渡戸数が減少したことにより減収
レジャー・サービス事業	12,614	12,244	370	3.0	観光施設で天候に恵まれたことに加え、リトルワールドの「トルコ イスタンブールの街」の新規オープンによる入場人員の増加もあり増収
流通事業	34,802	33,476	1,326	4.0	百貨店事業で宝飾品等の高額品の売上が好調だったことに加え、輸入車販売台数が増加し増収
その他の事業	13,471	14,573	△ 1,102	△ 7.6	設備工事の減収
調整額	△ 10,326	△ 11,168	842	—	
合計	135,686	134,820	865	0.6	

営業利益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	4,879	4,215	663	15.7	減価償却費等の減少により増益
運送事業	777	825	△ 47	△ 5.8	燃料費等の増加により減益
不動産事業	990	1,248	△ 258	△ 20.7	当社分譲損益の悪化に加え、諸経費の増加により減益
レジャー・サービス事業	△ 77	△ 400	323	—	減価償却費の減少もあり収支改善
流通事業	389	178	210	118.4	諸経費削減に努め増益
その他の事業	△ 637	△ 261	△ 375	—	減収による収支悪化
調整額	191	184	6	—	
合計	6,513	5,989	523	8.7	



名古屋鉄道

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	161,193	163,674	△ 2,480	未収債権の回収により「受取手形及び売掛金」が減少
固定資産	936,581	939,301	△ 2,719	
有形固定資産	817,777	820,994	△ 3,217	
無形固定資産	11,653	11,902	△ 248	
投資その他の資産	107,151	106,404	746	保有上場株式の時価上昇により「投資有価証券」が増加
資産合計	1,097,774	1,102,975	△ 5,200	
流動負債	337,214	323,689	13,524	
固定負債	521,038	543,695	△ 22,657	設備工事代の支払いにより、「支払手形及び買掛金」が減少
負債合計	858,253	867,385	△ 9,132	
純資産合計	239,521	235,589	3,931	四半期純利益+4,364 剰余金の配当△2,637 その他有価証券評価差額金+2,187 等
負債純資産合計	1,097,774	1,102,975	△ 5,200	
連結有利子負債合計	580,784	578,557	2,227	設備工事代の支払いにより増加

個別運輸成績

◆輸送人員◆

(単位：千人、%)

輸送人員	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	29,046	28,581	1.6
定期	62,513	61,429	1.8
計	91,559	90,010	1.7

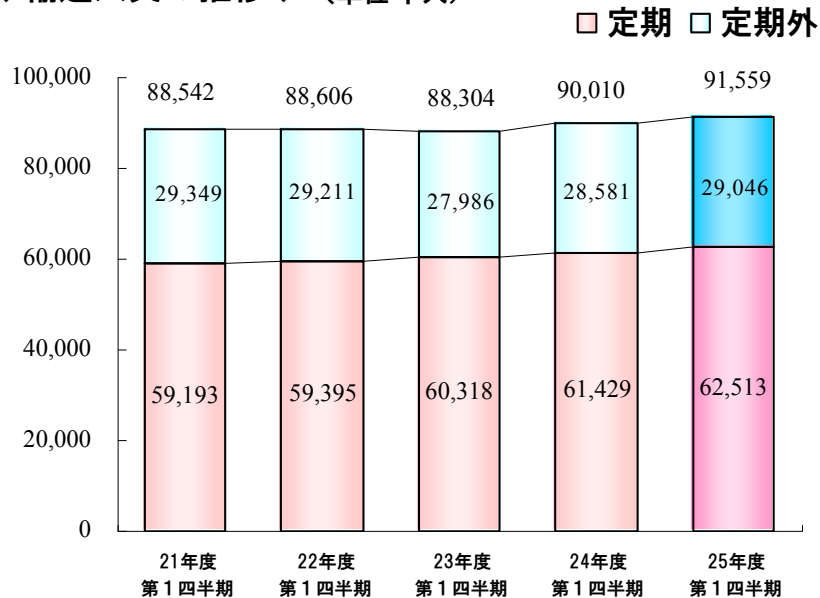
◆旅客収入◆

(単位：百万円、%)

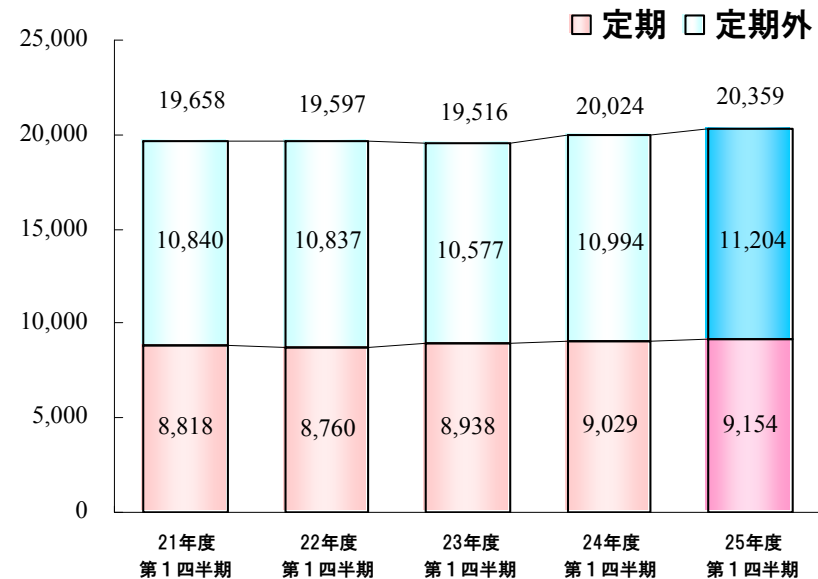
旅客収入	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	11,204	10,994	1.9
定期	9,154	9,029	1.4
計	20,359	20,024	1.7

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

◆輸送人員の推移◆ (単位:千人)



◆旅客収入の推移◆ (単位:百万円)



名古屋鉄道

平成26年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	25年度予想	24年度	増減額	コメント
営業収益	610,000	609,836	164	流通+2,417 レジャー・サービス+1,904 その他+1,501 運送+323 交通△774 不動産△5,020
営業利益	29,100	32,327	△ 3,227	レジャー・サービス+414 流通△42 運送△128 その他△294 不動産△297 交通△3,498
経常利益	26,500	28,814	△ 2,314	営業外損益は改善するものの減益
当期純利益	14,500	12,726	1,774	減損損失の減少等により増益

設備投資額	36,000	35,289	711	【設備投資額】 交通事業で車両更新が減少 運送事業で車両更新が増加
減価償却費	39,000	39,448	△ 448	
有利子負債	561,000	578,557	△ 17,557	

通期の連結業績について、第1四半期実績をふまえ、全体では順調に推移している。よって、通期の業績予想については連結業績・個別業績ともに前回公表値（平成25年5月9日）からの変更はしない。



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。